

事業の背景・目的

鹿島市には経ヶ岳及びその周辺に代表される多良火山地域の自然性の高い樹林地や、ラムサール条約登録湿地である肥前鹿島干潟に代表される有明海に面する河口・干潟など、国際的に価値の認められた重要な自然環境が存在する。この森から海・干潟までを一連の流域環境として意識し、令和3年度事業で行った実証地の整備を活かしグリーンインフラとして活用することで、協議会の持続可能な経済活動の確立と生態系の保全を実施する。



事業の内容

事業ア みかん荒廃園を活用した放牧牛の食育ツアー事業

- ・放牧牛を使用した商品開発
- ・市内小学生向けに里山の植生を学ぶ講座や食育を教えるツアーイベントを行い、自然との共生について学ぶ機会を作った



事業イ 海の森事業の効果検証事業

- ・海の森事業を実施、苗木を植樹した
- ・棚田をグリーンインフラとして活用する取組みとしてグリーンインフラ日本酒「ごえん」を市内酒蔵と協力して製造販売、得られた情報を市民と共有した



事業ウ 自然環境資源を活かした地域振興の取り組みの拡大事業

- ・多良岳山系のヤマネや生育環境の限定される動植物の調査をエコツアーイベントとして展開した



得られた成果

放牧牛を使用した商品開発（サイコロステーキ、ハンバーグを令和5年1月販売開始）を行い、放牧牛放牧地や鹿島の食材生産地を訪ねる食育ツアーを実施した。（令和5年2月）成果は市報や佐賀新聞、NHKで報道した。

グリーンインフラ日本酒を市内酒蔵と協力して製造販売。ストーリーを明確にして広く市内外に向けて広報を行った。

佐賀大学と連携したヤマネ探索（令和4年5月）、虫こぶ探索（令和4年10月）といった鹿島の自然環境資源を活かしたエコツアーイベントを実施。また、水辺の生き物調査を4季実施し、ヤマメの放流や登山を通じた自然学校の開催（令和4年11月）を行った。

これら取組みが評価され 環境省 第10回グッドライフアワード、国土交通省 第3回グリーンインフラ大賞、内閣府 第2回地方創生SDGs 金融表彰と環境系の大臣表彰3冠を達成した。